

地域医療連携を推進するための 優良事例調査の分析

西本莉紗恵 岡本左和子 野田龍也 今村知明
奈良県立医科大学 健康政策医学講座

2 背景

- 2025年問題
 - 団塊世代の最年少層が後期高齢者となる。
 - 現状の病床区分での対応が困難となる
- 地域医療構想、病床機能報告制度
 - 地域の実態に合わせて、各医療機関のさらなる機能分化と整理、再分配
- 地域包括ケア
 - 医療と介護の垣根をなくし、病院から地域へのスムーズな移行が求められる。

3 研究目的

- 地域包括ケアの施策において：
 - 取り組みの傾向を明らかにする
 - 今後予測される課題を明らかにする

4 方法

- 「病床機能分化・連携や病床の効率的利用等のために必要となる実施可能な施策に関する研究」班の調査結果を用いる。
 - 本事例集は厚生労働省より8病院団体に依頼し、各団体が傘下の医療機関に調査票(自記式)の送付と回収選定した優良事例をまとめたものである。(回収率・配布方法については不明)
- 調査期間：平成27年11月20日～12月1日
- 分析項目
 - 病院の属性
 - 病院所在地のブロック
 - 取組み種類
 - ICT活用の有無
 - 病院の医療従事者数
 - 所在地の医療圏について(二次医療圏基礎データ)
 - 地域区分
 - 訪問看護ステーション数、医療従事者数

5 結果1

59医療機関から回収した。

病院規模	病院数
1:400床以上	26
2:200～399床	12
3:200床未満	21
合計	59

地域区分	病院数
1:道庁地域型	8
2:地方都市型	31
3:大都市型	20
合計	59

ブロック名	病院数
1:北海道	2
2:東北	2
3:関東・甲信越	13
4:東京	6
5:中部	6
6:近畿	9
7:中国四国	7
8:九州	14
合計	59

図1：病床規模別にみる地域医療連携の優良事例病院

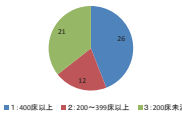
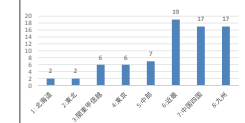


図2：地域区分別にみる地域医療連携の優良事例病院



図3：ブロック別にみる地域医療連携の優良事例病院



6 結果2

76事例を回収した。

病院規模	事例数
1:400床以上	37
2:200～399床	15
3:200床未満	24
合計	76

地域区分	事例数
1:道庁地域型	8
2:地方都市型	37
3:大都市型	31
合計	76

ブロック名	事例数
1:北海道	2
2:東北	2
3:関東・甲信越	6
4:東京	6
5:中部	7
6:近畿	19
7:中国四国	17
8:九州	17
合計	76

図1：病床規模別にみる地域医療連携の優良事例

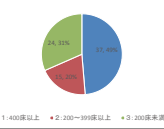


図2：地域区分別にみる地域医療連携の優良事例

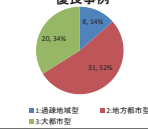
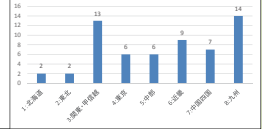


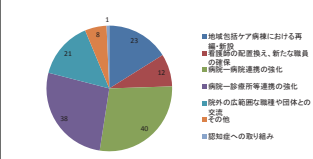
図3：地域区分別にみる地域医療連携の優良事例



7 結果3 取組内容ごとの分析

取組内容	件数
院内の病床再編・新病床の設置	(29)
地域包括ケア病院における再編・新設	23
地域包括ケア病院以外の病床再編・削減	(19)
看護師の配置換え、新たな職員の確保	12
病院-病院連携の強化	40
病院-診療所等連携の強化	38
院外の広範囲な職種や団体との交流	21
その他	8
認知症への取り組み	1
合計	143

図1：取組内容別にみる優良事例病院

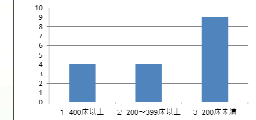


8 結果4 ICTを活用している病院について

ICTを活用している病院について

病院規模	病院数
1:400床以上	4
2:200～399床	4
3:200床未満	9
合計	17

図2：病床規模別にみるICTを活用している優良事例病院



ICT = Information and Communication Technology

結果5 2項ロジスティック回帰分析結果

内 容	件数	P値 オッズ比		P値 オッズ比
		規模	地域区分	
地域包括ケア病棟における再編・新設	23	0.003 2.672	0.027 0.372	0.077 0.783
看護師の配置換え、新たな職員の確保など	12	0.178 1.648	0.464 0.898	0.126 0.784
病院-病院連携の強化	40	0.708 0.904	0.172 1.645	0.512 0.925
病院-診療所等連携の強化	38	0.611 0.873	0.866 1.062	0.485 0.921
院外の広範囲な連携や団体との交流など	21	0.113 1.605	0.639 0.828	0.916 0.986
その他	8	0.471 1.371	0.137 2.908	0.934 1.017
認知症への取り組み	1	0.080 0.368	0.313 1.781	0.504 0.884

結果6 地域包括ケア病棟における再編・新設を行っている病院の内訳

病院規模	病院数
1:400床以上	5
2:200~399床以上	7
3:200床未満	11
合計	23

地域区分	病院数
1:過疎地域型	6
2:地方都市型	10
3:大都市型	7
合計	23

結果7 まとめ

- ICTは優良事例を回答した医療機関のうち30%が取り組んでおり、病床規模では200床未満の病院が半分以上を占めていた。
- 院内の病棟再編においては、「地域包括ケア病棟における再編・新設」の取り組みが多かった。
- 「地域包括ケア病棟における再編・新設」については病院の規模と地域区分で有意差が見られた。
- 認知症患者への取り組みは実質1件であり、進んでいない。

結論と考察

- 地域包括ケア病棟再編への取り組みは、移行が比較的容易である可能性が高い。
- ICT活用は、200床未満では移行しやすいが、200床以上の大きな病院では障壁になっているものがあることが示唆された。費用面などが推察される。
 - このままでは地域包括ケアの重点課題である情報共有が進まない。
 - 理由については追加調査の必要がある。
- 認知症への取り組みはないに等しく、2025年問題の重点課題であることに対して克服の困難さが示唆された。
- 「地域包括ケア病棟における再編・新設」の取り組みは地方都市型で200床未満の病院が多く取り組んでおり、この条件の病院が取り組みやすいことが示唆された。

リミテーション

- 自記式アンケートであるため、未回答項目については「未回答」とし、自由記入欄の内容を細かい項目に分けて分析した。
- 優良事例の選択については病院団体に委ねられたため、回収率や選定方法が明らかでない。
- 1つの病院から優良事例が複数件挙げられており、偏りがある可能性がある。

今後の研究

- 今回の研究結果より認知症についての取り組み、認知症患者への視点が非常に少ないため、認知症患者に対してどのような取り組みがされているのか質的研究を追加する。
- 地域包括ケアでは在宅療養を推進しており、病院の所在地医療圏の訪問看護ステーション数と取り組みの関連性を明らかにする。

ご清聴ありがとうございました。